

3 豊かな環境を保つシステムづくり

化学農薬、化学肥料を基準の5割以下に低減する栽培に取り組み、減農薬、減化学肥料栽培面積が前年比42ha増加し10,073haとなりました。

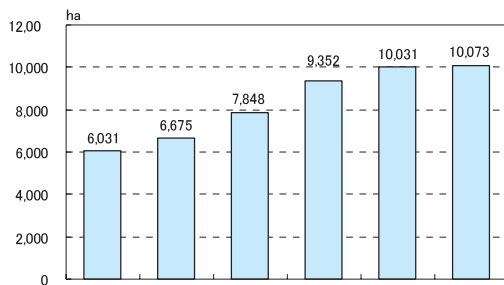
(1) 環境に配慮した農業を推進

(エコファーマーはやや増加)

・県では、減農薬、減化学肥料栽培^{※1}やエコファーマー^{※2}など、環境負荷を軽減する農業を推進しています。

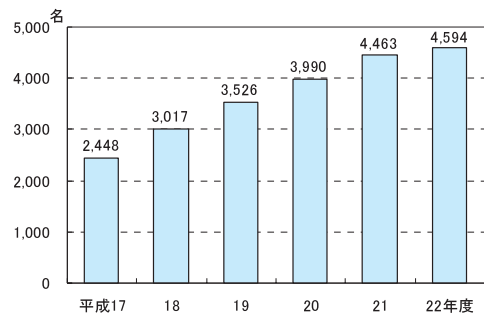
減農薬、減化学肥料栽培面積は10,073haで、前年に比べ42ha増加しました。

エコファーマーの取得はJAの園芸部会等を中心に取り組みされており、認定者数は4,594名で、前年に比べ131名増加しました。



減農薬、減化学肥料栽培面積の推移

資料：農林水産物安全課調べ



エコファーマーの認定者の推移

資料：農林水産物安全課調べ

【実施した主な内容】

(直売所出荷者の半数がエコファーマーに)

・JA福岡市では販売促進のため、博多じょうもんさん(直売所)出荷者に対し、エコファーマーの取得を推進しています。うち周船寺市場では出荷者の5割にあたる約60名が取得しました。

店内では、エコファ

エコファーマーが生産した
農産物の販売状況

※1 農薬、減化学肥料栽培

化学肥料、化学合成農薬又はその両方を県基準の5割以下に低減した栽培方法

※2 エコファーマー

土づくりや化学肥料、化学合成農薬の低減を一体的に行う農業生産方式の導入計画を策定し、知事から認定を受けた農業者

